

風しん抗体検査・予防接種のご案内

日本から、風しん、先天性風しん症候群をなくしましょう

成人男性への風しん対策

風しんとは？

風しんは三日はしかとも呼ばれます。

風しんは妊娠初期に感染すると、胎児に先天性風しん症候群（心臓疾患、難聴、白内障など）をもたらします。風しんは4～5年おきに流行を繰り返してきました。平成24年から平成25年の流行では全国で16,730人が発症し、45名の先天性風しん症候群のお子さんが生まれました。

今なぜ風しんが流行？

昨年から、また、風しんが全国的に再流行しています。

過去の定期接種では、昭和54年4月1日以前に生まれた男性（39歳以上）と昭和37年4月1日以前に生まれた女性（56歳以上）は、風しんの予防接種を受けていません。

風しんの感染は、予防接種を受けたことのない30代から50代の男性に多く、これが再流行の一因となっています。

抗体検査と予防接種の実施

国は、平成31年度から3年間をかけて、1回も予防接種を受けていない39歳から56歳の男性に対し、風しん抗体検査（無料）を実施し、抗体価が基準に該当しない人（検査者の約20%）に対し、予防接種（無料）を行います。

【対象者】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性

※今年度のクーポン券送付者は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性です。
次年度以降に送付する方のうち、希望される方は今年度受診することもできます。

次のいずれかに該当する方は、抗体検査の対象外となります。

- 風しんの罹患歴（かかったこと）の正式な記録がある方
- 過去に風しんの予防接種を受けたことがあり、その記録がある方
- 平成26年4月以降に受けた抗体検査の結果の記録がある方

クーポン券の使用期限

抗体検査▶ 令和2年（2020年）2月29日（土）まで

予防接種▶ 令和2年（2020年）3月31日（火）まで

この期間を過ぎても令和3年（2021年）度まで対象となります。

期限が過ぎた場合は、南知多町保健センター保健介護課 健康推進係 <0569>65-0711（代）までご連絡ください。

受診方法

- ・抗体検査は下表の1または2の方法で受けることができます。
- ・クーポン券が使えるかどうか、医療機関や職場に確認の上で検査を受けてください。
- ・クーポン券を忘れた場合は無料で抗体検査・予防接種を受けられませんのでご注意ください。

1

医療機関で受ける

※全国の協力医療機関で受けられます。

2

健診で受ける

職場の健診・特定健診（国保加入者）・生活保護受給者の健診

同封のクーポン券・本人確認書類（運転免許証等）を持参し、風しん抗体検査を受ける

抗体検査結果が記載された受診票を受け取り、**抗体価を確認する**（受診票裏面「定期接種の対象となる風しん抗体価」を参照）

抗体価が基準に該当

風しんの抗体（抵抗力）があります
予防接種は不要です

抗体価が基準に非該当

風しんの抗体（抵抗力）が十分ではありません
予防接種が必要です



※全国の協力医療機関：厚生労働省のホームページ
【風しんの追加的対策について】でご確認ください。

同封のクーポン券、本人確認書類（運転免許証等）、
抗体検査受診票を持参し、**予防接種を受けましょう**

※全国の協力医療機関で受けられます。予約してからお出かけください。

南知多町で抗体検査・予防接種が受けられる医療機関

医療機関	住 所	電話番号
大岩医院(内海)	内海字亥新田115-1	62-0138
(医)上床医院	豊浜字中村23-1	65-0604
(医)大岩医院(豊浜)	豊浜字上大田面12-1	65-0184
(医)共生会 みどりの風 南知多病院	豊丘字孫廻間86	65-1111
(医)羽栗会 夏目医院	大井字江崎24	63-0335
白井医院	師崎字向島1	63-0029
知多厚生病院	美浜町大字河和字西谷81-6	82-0395
かっぱのお家クリニック	師崎字神戸浦34	47-7430

予防接種の注意事項（予防接種救済制度）

〈予防接種を受ける前に〉

風しんの抗体検査を受けた結果、風しんの抗体価が基準に該当しない場合には定期予防接種の対象となります。接種するワクチンは麻しん・風しん混合ワクチン(MR)です。以下の内容をお読みいただき、併せて、厚生労働省のホームページ等の情報から予防接種の有効性、起こりうる副反応を確認してください。

1. 予防接種を受けることができない場合（1項目でも該当があれば接種はできません）

- ①接種当日、明らかな発熱を呈している（通常37.5℃以上の場合）
- ②重篤な急性疾患にかかっている
- ③麻しん・風しん混合ワクチンの成分によってアナフィラキシー様反応を呈したことがある
- ④風しんに係る抗体検査を受けた結果、基準を超える抗体価が認められる
- ⑤その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある

2. 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない場合

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある
- ③過去にけいれん（ひきつけ）の既往がある
- ④過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる
- ⑤このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある



〈予防接種を受けた後の注意点〉

- ①予防接種を受けた後、急な副反応が30分以内に起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。

【ワクチンの副反応】

発疹、発熱等が多い副反応です。ほかの副反応としては、注射部位の発赤・腫脹、硬結などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、倦怠感があります。重大な副反応としてごくまれに、ショック、アナフィラキシー血小板減少性紫斑病、脳炎・脳症、けいれんが起こる場合があります。

- ②接種後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、体調変化が現われた場合は、速やかに接種した医師(医療機関)の診察を受けてください。
- ③入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめましょう。
- ④接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動は避けましょう。

【問合先】南知多町保健介護課（保健センター） TEL(0569) 65-0711